

メンバー、ボランティア、学生  
みんな仲間!

令和3年3月号

# けやきと仲間 めーる



こころの病と闘っている人々と千葉大学生や周囲地域との協働の会 地域活動支援センター「けやきと仲間」  
令和4年3月1日(第203号)



令和4年3月20日(日)

12:00~14:30

ハーモニープラザ 3F

ハーモニーホール

参加希望者は申し出て下さい

(メンバーさん限定)

**最優秀作品賞 糸日谷敬一さん**

けやきと仲間出演予定  
ウクレレ演奏と歌  
大江さんの歌唱  
毅&mother ピアノ演奏と歌



**優秀作品賞 黒川和朗さん**

## 春はそこまできています。(園芸活動報告)



大実レモン



鳥も遊びに来ます



かりん

1月31日

キウイ切り枝束ねて廃棄

フリージア、ナツメゼラニウムの水やり

2月7日

大根、人参収穫跡地の草取り

フリージア、ナツメゼラニウムの水やり

人参畑跡地土づくり、深耕 50cm 腐葉土入れ

2月14日

残雪のため、中止

2月21日

枇杷の木近くの雑木の根 2 株取り除き

かぶの収穫、草取り

ボランティアの中野さんが久しぶりにいらっ  
しゃいました。



バラ



ビニールハウスの中には玉ネギが



### 山谷さんからお手紙が届きました。

「けやきと仲間めーる」No.202(令和 4.2.1)を読ませていただいて

わたしも自分自身のことでも思い当たることがありました。わたしはまだ現役でばりばり仕事をしている頃に病気(心筋梗塞)で倒れました。そのことを仲間に話した時、可哀そうという顔をした人がいて、親しい先輩が「同情なんかすると山谷に怒られるぞ」と話していました。そうです。わたしは病気で大変だと話したわけではなく、病気でもくじけずがんばるぞという気持ちでした。「可哀そう」などと思われると気持ちがくじけてしまいます。そのあと、何人かの人が「実は私も…」と話し励ましてくれました。表には出さないだけで、みんな、そういう病気や障害を多かれ少なかれ抱えているのです。病気仲間もできました。それは病気でつながっているのではなく、「病気でも元気に」という気持ちでつながっている仲間です。視覚障害のある両親とその子どものごく自然に助け合う姿に心が和むという話は、幸せとは障害の有無ではないことを改めて感じさせてくれました。また、リハビリというのはリハビリ(機能回復)とは少し違って「希望と生きがい」を取り戻す精神的な回復を意味していることを平鹿さんの文章を読んで感じました。 ありがとう。お元気で！！

2022.2.15 ヤマヤヒデアキ

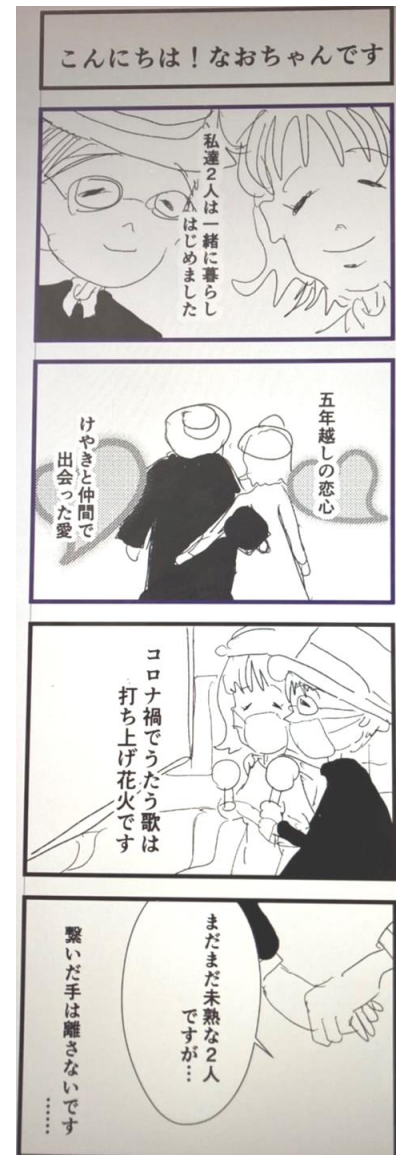


4コマ漫画からお読みください。

共通点金銭管理が苦手です  
有難い彼女の母が財布持ち  
朝刊は君で夕刊は僕が取る  
共作のボンゴレスープアサリ入り  
毎日がピアサポみたい喧嘩なし  
朝4時に起きて早番タフな君  
遅番で8時に帰宅早く寝て  
幸せを時々邪魔する幻聴が  
幻聴か君の寝言か不明です

N.Mさんと付き合い始めたのは、5年ほど前です。そして、昨年の12月から同居を始めて2ヶ月が経ちました。病気のことも含めて、お互いに知らなかったことに気づかされている毎日です。(K. N)

彼のご両親とは以前から、2ヶ月に一度くらい、会食させていただいてましたが、最近、彼のお父さんが「もう、身内同然なのだから」と言うくださったときには、ビックリしたし、とても嬉しかったです。写真館で2人の記念写真を撮りたいです。(N. M)



川柳もお読みください